

※※掲載しているイベント・休館日などの情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止または変更になる場合があります。最新の情報は図書館ホームページをご確認ください※※

# 図書館つうしん

〒中央図書館 Tel 24-1507

## 【1月の休館日】

1日回～4日回・9日回・10日回・16日回・  
23日回・26日回・30日回  
イベント情報、資料検索・予約は図書館HPで▶



# 人形劇

参加無料・事前予約制



日時：1月28日回  
午後2時～3時

場所：中央図書館 3階読書室

出演：人形劇団木偶

## プログラム

「タッチャン」、「ピッチとチャップ」、「なにができるかな」

対象者：幼児～小学生と保護者

定員：50人

※マスクの着用をお願いします。

予約方法：1月6日回から中央図書館1階または  
こども図書館カウンターへ直接、または電話で  
申し込み

〒中央図書館 Tel 24-1507



▲『ピッチとチャップ』

## ◆こども図書館

(午前10時30分～)

7日回 おはなし玉手箱

12日回 ひよこのおはなしかい

21日回 むかしむかしのおはなし会

## ◆郷の本棚やさど図書館

(午後2時30分～)

14日回 おはなしフレンズ



▲代官屋敷遺跡（総社）から出土した圧痕が残る底部写真（左）と型取りしたレプリカ（右）

# 時の記憶

シリーズ 206

## 「土器の底部からわかる痕跡①」

岡文化振興課（支所）

Tel 43-1111（内線1456）

縄文時代の土器の底部には、編み物や葉脈、動植物などの痕跡が残されていることがあります。これらの痕跡は底部圧痕と呼ばれ、その時代の植物利用のあり方を示す資料として重要なものです。

かご類がそのままの状態出土するのは珍しく、2016年現在で全国でも83遺跡にとどまっています。日本の遺跡の多くが酸性土壌であり、湿潤・乾燥が交互に繰り返される環境であることがそれらの保存をより難しくする要因となっています。底部圧痕は、そうした有機物の痕跡を示す「間接資料」であり、技法や素材などに着目した研究が進められています。

石岡市でも、東大橋原遺跡をはじめ、代官屋敷遺跡（総社）や白久台遺跡（石岡）などから出土した多くの縄文土器の底部からそうした圧痕が見つかっていきます。近年、そうした圧痕にシリコンを流し込んで型取りをすることで、より詳細な分析ができるようになってきました。今回紹介した底部圧痕の一部とその成果について、石岡市立ふるさと歴史館企画展で展示します。

ふるさと歴史館第31回企画展

「底だけ展―「そこだけ」にある魅力・

「そこだけ」にしかない魅力」

期間／1月12日回～4月2日回

場所／ふるさと歴史館（総社1-2-10）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

# 文芸いしおか

## いしおか俳句同好会

少子化の世を永えて竹の春  
菊花展白寿の母の薄化粧  
臥す母の卵雑炊木の匙に  
あなたには好かれたくない草虱くさむし

## やさこと俳句会

冬野行く俳句の神に手をひかれ  
農に生き商ひに生き木の葉髪  
柿落葉献上柿を育みて  
句を語り時を忘るる小春かな

## いしおか川柳会

ど忘れに俺も歳だと独り言  
箱の中色鉛筆の背比べ  
金婚式我慢と努力報われる

## 石岡俚謡会

人が知れない 無縁の墓地に いつの間に咲く 曼珠沙華  
王手角取り 桂馬を打たれ うちの聡太に 待ったする  
枯れ葉ヒラヒラ 舞うよう散って 春の芽吹きに 力貸す  
友と歌うは 紅葉の歌よ 心合わせて 二重唱  
落葉踏み踏み 林の中へ 探し回った キノコ狩り  
秘めた思いに 燃え立つ紅葉 染まる山肌 秋の色  
歩くよちよち ご機嫌さんね ひ孫笑顔で 元気出る  
刈ったばかりの 田んぼを渡る 風は稔りの 香を運ぶ

## 投稿作品

たくましい土手の一株秋桜よ  
天体の神秘に想ひ巡らせつ家族で見入る皆既月食

一色 しのぶ(総社)  
福田 泰夫(東光台)  
若色 茂(山崎)  
森 まさえ(東光台)

越智 旅舟(太田)  
石田 清美(瓦谷)  
國谷 南風(瓦谷)  
石田 誠一郎(瓦谷)

助川 浩史(府中)  
関 きみ子(柿岡)  
醍醐 正夫(東大橋)  
北白川 令(石岡)

醍醐 正夫(東大橋)  
若色 茂(山崎)  
田村 こまくさ(鹿の子)  
秋野 もみじ(南台)  
助川 浩史(府中)  
篠原 美千代(国府)  
前島 くに子(貝地)  
小川野 蛙(府中)

羽生 好之(三村)  
荒井 幸子(山崎)

## 第41回

## 「石岡コカリナ同好会」

(コカリナは木の笛です)

## 文化協会だより

石岡市文化協会に所属して間もなく、新型コロナウイルスがまん延し何も活動が出来ないまま2年半が過ぎました。

2022年になり、ウクライナの支援活動をしているポーランド在住のコカリナ仲間からの要請で日本コカリナ協会は「ひまわりコンサート」を全国規模で立ち上げ、茨城県では5月に常総市で開催しました。9月には3年振りのコカリナフェスティバル、10月には

石岡市文化祭参加と続き、特に文化祭での発表は、自粛生活と併せて初参加でもあったため不安な思いで当日を迎えましたが、沢山の皆様にお越し頂き感謝に尽きるコンサートになりました。

安心して音楽が楽しめる日が1日も早く訪れる事を願いつつコカリナを楽しんでいます。

石岡コカリナ同好会

TEL 090-9147-6529 (河部さかゑ)



▲文化祭